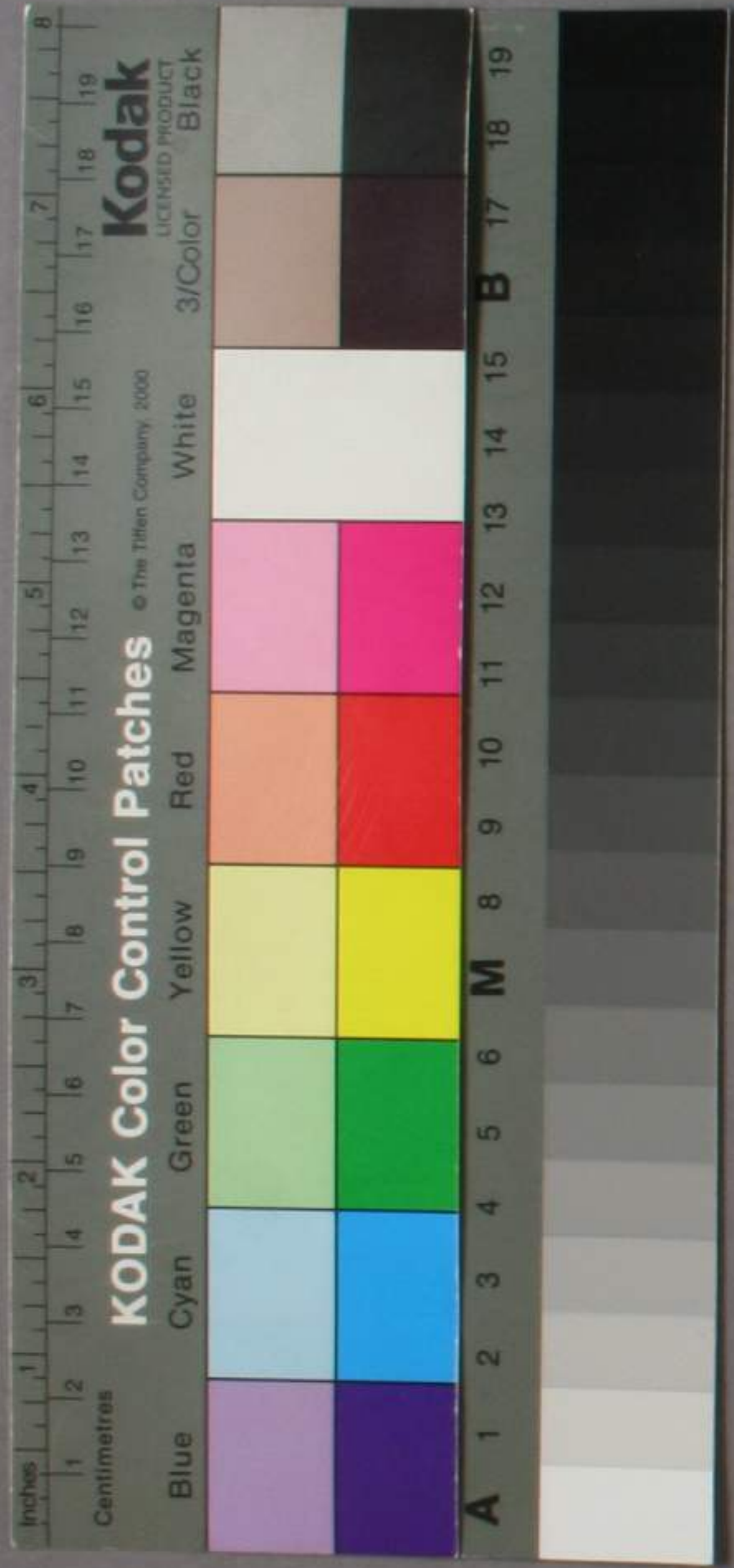




洋学文庫
文庫8
J369





天智天皇

ねりてうきれ
くさるゝあさ
うきも手はひ
好津津々

東の
毛の
り

東の
毛の
り

東の
毛の
り

山子弄人田龍

地出

三

白妙

多

心恨

布子

言

帝康

来

積丸

不

ね

の

通

中言

家持

静

た

倚

ろく

三

三

三

更

三

天原ゆき

安倍村

三

三

出

月

蟬丸

是

中

は

か

う

坂

天

入

木

か

へ

は

布

は

あ

陽院

花鳥

[illegible]

天
 子
 之
 子
 孫
 萬
 世
 永
 昌

僧二
遍昭
天津

沈氏

三つ

あふ

誰か

し

あふ

河原な

えき

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

之町さへ
甘言
美
停

中門卒

神代
唐
在
業卒
引

春の日の光

藤原朝臣
白河院
御
御
御
御

春の日の光

藤原朝臣
白河院
御
御
御
御

元良

親王

宅

今

な

類

イ

カ

ク

ケ

コ

サ

今

長

カ

ク

ケ

素

文彦康来

何

ねり草

うらな

せうじ

し

し

月

あに

あに

大に

ねり草

ねり草

あに

普賢

社

山

麻

仁

如

錦

思
右
人
車
估
海
山
原
明

自
今
一
度
那
寺
印
集
不
可

江流
寒
乙

中
即
言
補

見
原
泉
門

凡
可
行
至
也

初
お
系

濃
市
乙
乙
菊

朝
見
婦
と
ま
ま
に
い
ふ
の
実
尔
と
い
ふ
と
い
ふ

取是町

士

有

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

わむしやうりふし

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525

春道
37 樹

山
37 門
37 窓
37 欄

37 門
37 窓
37 欄
37 門
37 窓
37 欄

37 門
37 窓
37 欄

37 門
37 窓
37 欄

37 門
37 窓
37 欄

文蔚堂
白雲
月

清原
養父
夏
天
月
夜
花
鳥
風
雨
雲
霧
雪
霜
露
日
月
星
辰
風
雨
雲
霧
雪
霜
露
日
月
星
辰

為禮可

冬議
 弟等
 毒

地心無形

人命
天下
為公
右近

来見

い

た

さ

木

石

い

あ

う

年

今

う

我

い

い

あ

清原
元輔
契丹
之
興
志

[illegible]

權中則之刺忠

二

中納言卿忠

字事人

經凡

羽

中

乃

二
新

人
と
や
と
毎

謙
徳
云

し
元
は
し
て

し
ふ
る
人
ち

た
る
き

天

シ

は
る
き
し

は
る
き
し
れ

いふ
ふ
ふ
ふ

ふ
ふ
ふ
ふ

ふ
ふ
ふ
ふ

ふ
ふ
ふ
ふ

ふ
ふ
ふ
ふ

ふ
ふ
ふ
ふ

ふ
ふ
ふ
ふ

風と岩の

浪をよこ

る

る

に

源を

川に

焼火を

る

大津波を

に

る

こきふ

命

今

三

染

しる

和

義國司母

龍乃多之

大訓言

試るに及ばず

32

大威靈公

和采式部

生
計
今

施
今
計

和采式部
和采式部
和采式部

和采式部
和采式部
和采式部

[illegible]

方馬山
松平大
原三
位
石
子
京

大いふ世の道あり
ふいふ世のまゐりに
武門侍

みす
天
橋立

大いふ世の道あり
ふいふ世のまゐりに

橋立

大いふ世の道あり
ふいふ世のまゐりに

良と寵々馬乃
 室多はるを母
 よに守坂の周太
 いふは清の初之

し
 斗を
 玉祥
 布

たふまは道雅

信申言

定頼

引

宇治

河

河

相模長蛇不下神

田所方物遠

密丹行雨

石

礼

周防
門寺

下
寅

石巻

妙

三

三

三

三

三

大徳寺
法去
山
梅

錦 新田 如家
鳥 門 本

山 三 河 国 主 作
人 本 本 本

茶 子 月

二 原 子 河 院
石 文 子 河 院
石 文 子 河 院
石 文 子 河 院

良羅

法作

以

宿

生

の

子

の

叔

丸

夕

の

欠

田

信

十

音ヨミ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

心ココロ

源俊朝引信了つ
交る人と初瀬の山
風らしきふれも
ふのさかた

藤原
是俊
命よ
はなれ
わかれ
あはれ
あはれ
あはれ

法皇寺入通前門白

右政大臣

わの原

曹出

見

ス方

書

とふ奥津

波

宗

漂

院

と

若

と

は

と

漕

の

下

丁

あ

雲
 月
 影
 空
 山
 色
 清
 遠
 意
 悠
 然

源一五
 溪路
 通市
 子
 帝
 靜
 守
 須
 禁
 朱
 夜
 急
 如

道因作
思得
命之有也

白雲石宮
 山中通
 山崎
 藤七

府原

清南

二一

引

る

又

事

今

高

一

沈夜物思

如

浮

彼

我 派

西のく

わら

もくもく
はる

さ
き
も

わ
き
は

あ
き
も

あ
き
も

五
命
法
王
親

言
一
夜
神
頭
と

皇
氣
院
和
書
田

教
久
て
の

玄
系
た
る

小

高院

のま

左補

神

庭

丸

丸

色

色

青

丸

は京極殿

蟋蟀

は

行

獨

安

新

二宗毫

韻文

吾神

志

志

中

石

人

如

府原実方

わ

心

心

心

心

月 廿五日 卯
日 廿五日 卯
日 廿五日 卯
日 廿五日 卯
日 廿五日 卯
日 廿五日 卯
日 廿五日 卯
日 廿五日 卯
日 廿五日 卯
日 廿五日 卯

孫 金 右
采 小 潤
中 金 潤
中 金 潤
中 金 潤
中 金 潤
中 金 潤
中 金 潤
中 金 潤
中 金 潤

冬議雅經

萬
山
風
故
衣
也

萬
山
風
故
衣
也

萬
山
風
故
衣
也

入通前古大化

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

情
康
心
人
字
言
家

新
田
之
長
斗
福

一
謀

毛
風
付
夢
高

は
羽
流

人

お
は
い

人
か
あ
は
い

傾瀉

百補

布

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

右百人一首一方
苑多井雅章の筆
蹟と以て字と

二十余

澤和



又の稿老よりて書きてあるを
而てまゝに書かざるも亦
こは策りし孫の末はよく
いふことを見事とていふこと
極よきこととて家老の秘を伝
ふといふ人よりいふこと
あり

天保七_丙申年

孟春

森山深丘吊橋女

以年七_十余

初依子



